

第13回日本カメ会議

in 埼玉県寄居町



2011年12月10日（土）～11日（日）、「埼玉県立川の博物館」を会場として、日本カメ会議が開催された。日本全国からカメの研究者やカメを愛する者たちが一年に一度集結し、昼も夜もカメについて語り合う『**カメ好きの祭典**』である。佐高生物部も昨年（名古屋で開催）に引き続いて参加した。

「カミツキガメのハビタットの違いによる食性、成長速度の違い」（名城大学大学院生）という専門的な内容から、「ふしぎなクサガメのカーコちゃん」（京都市の中村さん）と題するペットの行動記録、津波で流されたカメが家に戻ってきた「還ってきたカメ」（愛知県の本崎さん）、また、「カメが鳴く？短歌俳句史の視点を中心に」、日本の詩歌での「亀が鳴く」表現の研究など、テーマは多彩である。

そんな中、佐高は「**三杉川に生息するカメの行動について**」と題して、今年度の研究成果を発表した。発表者は、3年のU君、K君、2年のY君である。質問にもうまく答えることができ、「前より発表がうまくなったね。」という声もかかった。カメの世界での佐野高校生物部の知名度は少しずつ上がっているようだ。

会場では**グッズの即売会**があり、カメ好きの熱気に溢れていた。来年の開催地は東京である。

